



会長あいさつ：南部地域農林水産業推進会議 会長（南部農業改良普及センター 所長：新崎正信）

本日は忙しい中、多くの関係機関と農家の方々が参加して頂きありがとうございます。

本日のシンポジウムは、土壤保全の日の一環で開催される行事などであります。

土壤保全の日の行事は平成2年から実施されまして、今回で23回目を迎えます。

これまでは、緑肥の播種などによる土壤流失の防止など、関係機関や農家個々の意識啓発を図り、一定の成果が得られました。

しかし近年、地球環境が悪化する中、環境保全や陸と海の共生などの重要性が高まってきています。

共生できる環境づくりは、避けて通れない課題となっています。

このようなことを踏まえ、今回は従来と内容を変え、沖縄県の環境保全型農業とその仕組みを考えようをテーマとしまして、農業と漁業が共生できる環境づくり、いわゆる海と畑との保全を考える機会としました。

その主旨をご理解いただき、有意義なシンポジウムになるよう、皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。

結びに、開催に当たり、会場の提供や会場準備にご協力を頂いた、糸満市をはじめ関係機関の皆様に感謝申し上げます。